
思想世界

棗 雄一

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

思想世界

【Zコード】

Z0646P

【作者名】

棗 雄一

【あらすじ】

その人は死んだ。

その魂は死ねなかつた。

その魂は願つた。

(世界を描く。)

その人は生き返った。

一人を助けるために：

魂の願い

死んだ魂は一つの場所に集まる、その魂はいすれは新たな器を手にして再び世界へと向かう。

死んだ魂に「個」はない。

だが稀に「個」を持った魂が現れる。

その時、その魂は一つだけ願いを叶えることができる。

どんな願いでも叶えることができる。

魔法、瞬間移動、タイムマシン、不死、殺戮。

なんでも出来る。

世界を造る」と「いやされ…

一つの光の玉がある。

光の玉は叫ぶ。

(俺達は死ねないんだ…！)

その言葉に引かれて七つの光の玉が集まる。

光の玉は叫ぶ。

（あこいつは弱すぞる…
田覚めと共に絶望しちゃう…
）

八つの光の玉は話をしてくるかのように瞬いていた。

（俺は世界を造るーあこいつを強くなるまで、一学期からの日までを永遠に繰り返すー）

八つの光の玉は強い光を出した。

その光は辺り一面を覆い、その場に世界を造り出した

（お前達を…一人にしない、まかせろ…俺がなんとかしてやる…）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0646p/>

思想世界

2010年11月22日05時11分発行